

■e-黒板ニュース（第46号）：情報教育長期研修会と教育研究会理科部会

先週の土曜日（2月5日）は、e-黒板研究会委員の成瀬啓先生にお招きをいただき、宮城県情報研修センターの小・中学校情報教育長期研修会で1時間あまりお話をさせていただきました。「教員研修の重要性」と「教員同士のネットワーク作りや意見交換の場の必要性」を感じました。

また昨日は、東京都板橋区中学校教育研究会の理科部会からお誘いで、理科の先生方の研究会でお話をさせていただきました。今回は、「教科毎に、授業方法の改善・工夫や教材作りのノウハウについて意見交換、情報共有、協働作業ができる仕組み作り」の重要性を感じました。

今回の板橋区中学校教育研究会の理科部会で「e-黒板」を取り上げる企画をご提案された、e-黒板研究会の会員でもある板橋区立赤塚第二中学校教頭の依山麗先生からは、投稿をいただきましたので、先生のご理解を得て掲載させていただきます。

今号の目次：

- =====
 1. 報告：宮城県情報研修センターの情報教育長期研修会
 2. 報告：東京都板橋区中学校教育研究会の理科部会
 3. 投稿：簡単な教材作成ツールの提供を（板橋区立赤塚第二中学校：依山麗教頭）
 =====

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由にどうぞ。会員の皆様からの投稿もお待ちしております。

宛先はいつでも ekokuban@cec.or.jp です。

e-黒板研究会のホームページ

<http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban>

をご参照ください。e-黒板ニュースのバックナンバー等もご覧いただけます。

1. 報告：宮城県情報研修センターの情報教育長期研修会

先週は、みやぎIT教育推進事業の「e-黒板活用プロジェクト研究授業」で石巻市立蛇田小学校の授業見学をしてきたばかりですが、今回は、宮城県教育研修センターの成瀬啓主任主査にお誘いをいただき、会場のホテル白萩にやってきました。このホテルは、公立学校共済組合仙台宿泊所ということですが、仙台駅から歩いて約10分のところにあるいいホテルでした。

会場に着くと、蛇田小学校の時にお世話になった高橋琢也主任主査も会の運営に当たられていて、いろいろとお話をさせていただきました。私も関係しているマイタウンマップコンクールの第1回目の「文部大臣奨励賞（中学校部門）」を受賞されたというエピソードも知ることができました。

この会は、宮城県情報研修センターで実施されている情報教育の長期研修（3ヶ月研修）を受けられた小・中学校の先生方が集まって交流を深めるという目的があり、14回も続いているそうです。

最初に、会の副会長である松山町立松山中学校の古内晴男校長のご挨拶で始まりました。

私のお話は、「CECの事業紹介」ということでしたが、先月のロンドン訪問時のお話を含め、どうしても「e-黒板研究会」に関するものが中心になりました。

- ・電子情報ボードの現状（日本、米国、英国）
- ・e-黒板CD-ROMのご紹介
- ・電子情報ボードのメリット
- ・今年度実施の実践授業のご紹介（ビデオクリップ）

などをお話しました。

充分時間をかけて準備したのですが、時間配分がまずかったようです。後で、もう少しビデオクリップやデジタル教材の例を見ていただければよかったと思いました。

そのあと、総会と懇親会がありました。

懇親会では、自己紹介や懇談の時間がたっぷりあり、みなさんの人柄や活動状況がよくわかりました。研修も大切ですが、研修を受けた先生方が相互にもっと知り合い、交流の輪を広げていくということももっと重要なことだと思います。

宮城県では、成瀬先生・高橋先生のご活躍もあり、「e-黒板」も徐々に注目され、その活用メリットや教育効果についても理解されはじめたようです。

2. 報告：東京都板橋区中学校教育研究会の理科部会

板橋区立板橋第三中学校の千原隆邦教頭先生から、突然お電話があり、「板橋区中学校教育研究会の理科部会でお話をしてくれませんか」ということで、すぐにお引き

受けました。「e-黒板」や「e-教科書」を見たことがないという先生方が、まだまだ大多数という状況なので、まずは見ていただく・知っていただくための活動に力を入れたいと考えているからです。

この日は、14:00から板橋区の中学校教育研究会が板橋第三中学校で開催されました。いろいろな教科毎に研究発表会がありました。私が参加したのは、理科部会です。その部会のコーディネーターが千原教頭だったというわけです。

会長（板橋第二中学校の三橋校長）のご挨拶のあと、各教室で教科ごとの研究会がありました。理科部会は、第一理科室で開催され、33名の先生方が参加されました。

最初の発表は、板橋第四中学校の高橋信雄先生による研究発表で、『凸レンズが作る像を調べる』～レンズ付きピンホールカメラで写真を撮ろう～です。高橋先生は、電子情報ボードは見るのも初めてだったわけですが、その場で、私が使う予定で日本スマートテクノロジーさんに貸し出していただいた電子情報ボードを使って説明を了解して下さいました。さすがは、理科の先生です。パワーポイントの資料を次に進めたり、画面にペンで書き込む機能を事前の研修なしに使いこなされていました。

2番目の発表が、私たちが担当した「e-黒板とe-教科書で理科の授業が変わる」です。約1時間、①電子情報ボードとは ②電子情報ボードの状況（日本・米国・英国）③電子情報ボードを使った授業の紹介 ④メリット ⑤理科のデジタル教材のご紹介 ⑥Q&A といった内容でした。

「理科のデジタル教材のご紹介」では、IT活用教材標準化委員会代表の原さんとラティオインターナショナルの西村さんにお願しました。理科の先生ばかりだったので、西村さんのプレゼンテーションは、興味深く、分かりやすい内容でよかったと思います。Q&Aでは、日本スマートテクノロジーの伊藤さんにお願しました。操作の履歴が動画として記録でき、再生できるという機能のデモをされていました。

普段の研究会の様子は知りませんが、今回参加された先生方は、電子情報ボードにたいへん興味を示されたのではないかと感じています。今回は「理科」でしたが、その他の教科についてもこのような教科毎の「授業方法の改善・工夫や教材作りのノウハウについて意見交換、情報共有ができる場の提供や、協働作業ができる仕組み作りの重要性を強く感じました。

3. 投稿：簡単な教材作成ツールの提供を（板橋区立赤塚第二中学校：依山麗教頭）

昨日の板橋区中学校教育研究会発表会理科部でのe-黒板のご紹介ありがとうございました。

たいへん興味深く拝見することができました。特にモーターの回転の仕組みのところで（私は数枚の図を板書して説明していました）説明図を実際に回転させながらさらに補足を書き加えながら説明できるという点にインパクトを感じました。

天体分野で月の満ち欠けや季節の変化、太陽高度の変化、昼夜の時間の変化なども動く図を使いながら説明したら生徒の理解が早いだろうと思いました。ビデオ映像もタイムレスに映写できるし、たいへん魅力的でした。

一方本校の理科教員に尋ねたところ、PCを使うところに抵抗感があるようでした。確かにいまだに学校現場ではPCを利用した授業は理科に限らずなかなか実施できていません。魅力的で使えるソフトが少ないためです。e-黒板の普及もソフト次第だと思います。ハード面もさることながら特にソフト面の充実を切に願っています。

そのためには「素人が自分で簡単にソフトを開発するためのソフト」が必要だと思います。先生方は忙しいのでよほど「好き」じゃないと説明書を読んでソフトを使うなんてことはしません。必要に迫られても知っている人に聞くぐらいです。

でもプリント教材を作るように簡単にワープロ感覚であるいはパワーポイント感覚で教材ソフトを作ることができれば、みんな（いまだにワープロを使わない方もいますが）PCを気楽に授業に使うと思います。

レゴにマインドストームというプログラム作成を簡単にできる「おもちゃ」がありますが、あんな風に教材ソフトを作れたらな～と思います。

以上

=====
 編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一
 e-黒板ニュース メールアドレス： ekokuban@cec.or.jp
 e-黒板研究会 ホームページ： http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban/
 =====